

群馬大学教育学部

教育に関する現況調査アンケート

H22-24年度大学院修了者調査結果報告書

平成26年

- A. 大学院修了年度
- B. 修了したコース・専修
- C. 特例措置の適用の有無
- D. I :現在の職業
《学校の教員の方について》
II :勤務地
III :学校種別
IV :採用の形態
- E. I :学習・研究指導機会の評価
II :達成度の自己評価
- F. 授業評価
- G. 教育学部の総合評価

【資料】

- ・大学院に入って良かったこと、大学院で身に付いたこと
- ・自由意見

A 大学院修了年度について

	人数
1 平成22年度	11
2 平成23年度	2
3 平成24年度	2
計	15

B 修了したコース・専修について

	人数	%
1 教育	0	0
2 教育心理	0	0
3 障害児教育	0	0
4 国語教育	3	20
5 社会科教育	3	20
6 数学教育	0	0
7 理科教育	0	0
8 音楽教育	1	6.667
9 美術教育	2	13.33
10 保健体育	2	13.33
11 技術教育	1	6.667
12 家政教育	3	20
13 英語教育	0	0
14 児童生徒支援	0	0
15 学校運営	0	0
計	15	100

C 特例措置の適用の有無について

	人数	%
1 特例の適用無し(一般受験による)	13	86.67
2 現職教員等の特例の適用有り(教育委員会等の許可を得て受験した教員等)	2	13.33
計	15	100

D1 現在の職業について

	人数	%
1 学校の教員	14	93.33
2 学校以外の教育機関(教育委員会、教育施設等)	0	0
3 公務員	1	6.667
4 一般企業	0	0
5 その他	0	0
6 無職	0	0
計	15	100

D2 学校の教員の方に(勤務地について)

	人数	%
1 群馬県内	14	100
2 群馬県以外	0	0
計	14	100

D3 学校の教員の方に(勤務している学校種別について)

	人数	%
1 公立小学校	6	42.86
2 公立中学校	2	14.29
3 公立高等学校	3	21.43
4 私立小学校	0	0
5 私立中学校	0	0
6 私立高等学校	0	0
7 特別支援学校	0	0
8 幼稚園	0	0
9 その他	2	14.29
無回答	1	7.143
計	14	100

D4 学校の教員の方に(採用の形態について)

	人数	%
1 正規採用	13	92.86
2 非常勤採用	1	7.143
3 さくらプラン・わかばプラン等での採用	0	0
4 その他	0	0
計	14	100

E- I 学習・研究指導機会の評価

0 :まったくなかった

1 :あったが不足している

2 :あった(不足はない)

3 :十分にあった

		0	1	2	3	無回答	2以上	平均
1	教育の思想、制度、内容・方法等、教育や学校の在り方に関する専門的な知識を学修すること	人数 0	2	8	1	4	9	1.909
	%	0	13.33	53.33	6.667	26.67	60	
2	教育の思想、制度、内容・方法等、教育や学校の在り方に関するテーマで研究すること	人数 0	0	6	1	8	7	2.143
	%	0	0	40	6.667	53.33	46.67	
3	子どもの心理、学習や発達に関する専門的な知識を学修すること	人数 0	1	3	3	8	6	2.286
	%	0	6.667	20	20	53.33	40	
4	子どもの心理、学習や発達に関するテーマで研究すること	人数 0	0	3	2	10	5	2.4
	%	0	0	20	13.33	66.67	33.33	
5	障害を持つ子どもの指導に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 0	2	0	3	10	3	2.2
	%	0	13.33	0	20	66.67	20	
6	障害を持つ子どもの指導に関するテーマで研究すること	人数 1	1	0	2	11	2	1.75
	%	6.667	6.667	0	13.33	73.33	13.33	
7	教科の教育法や授業実践に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 0	1	6	8	0	14	2.467
	%	0	6.667	40	53.33	0	93.33	
8	教科の教育法や授業実践に関するテーマで研究すること	人数 0	0	3	8	4	11	2.727
	%	0	0	20	53.33	26.67	73.33	
9	教科の内容に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 0	1	1	12	1	13	2.786
	%	0	6.667	6.667	80	6.667	86.67	
10	教科の内容に関係するテーマで研究すること	人数 0	0	2	10	3	12	2.833
	%	0	0	13.33	66.67	20	80	
11	教科以外(道徳、特別活動、総合的な学習の時間等)の指導について専門的な知識や技能を学修すること	人数 0	2	2	0	11	2	1.5
	%	0	13.33	13.33	0	73.33	13.33	
12	道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の内容に関係するテーマで研究すること	人数 1	0	1	0	13	1	1
	%	6.667	0	6.667	0	86.67	6.667	
13	生徒指導や教育相談に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 1	3	1	0	10	1	1
	%	6.667	20	6.667	0	66.67	6.667	
14	生徒指導や教育相談に関するテーマで研究すること	人数 1	1	2	0	11	2	1.25
	%	6.667	6.667	13.33	0	73.33	13.33	

E-II 達成度の自己評価

- 1 : 努力を要する
 2 : 「1」と「3」の間
 3 : おおむね満足できる水準にある
 4 : 「3」と「5」の間
 5 : 十分に満足できる水準にある

		1	2	3	4	5	無回答	3以上	平均
1	教育の思想、制度、内容・方法等、教育や学校の在り方に関する専門的な知識を学修すること	人数 1	1	9	0	0	4	9	2.727
		% 6.667	6.667	60	0	0	26.67	60	
2	教育の思想、制度、内容・方法等、教育や学校の在り方に関するテーマで研究すること	人数 1	1	5	0	0	8	5	2.571
		% 6.667	6.667	33.33	0	0	53.33	33.33	
3	子どもの心理、学習や発達に関する専門的な知識を学修すること	人数 1	1	4	0	1	8	5	2.857
		% 6.667	6.667	26.67	0	6.667	53.33	33.33	
4	子どもの心理、学習や発達に関するテーマで研究すること	人数 1	1	2	1	0	10	3	2.6
		% 6.667	6.667	13.33	6.667	0	66.67	20	
5	障害を持つ子どもの指導に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 2	1	1	1	0	10	2	2.2
		% 13.33	6.667	6.667	6.667	0	66.67	13.33	
6	障害を持つ子どもの指導に関するテーマで研究すること	人数 2	1	1	0	0	11	1	1.75
		% 13.33	6.667	6.667	0	0	73.33	6.667	
7	教科の教育法や授業実践に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 1	0	7	5	2	0	14	3.467
		% 6.667	0	46.67	33.33	13.33	0	93.33	
8	教科の教育法や授業実践に関するテーマで研究すること	人数 1	0	4	5	1	4	10	3.455
		% 6.667	0	26.67	33.33	6.667	26.67	66.67	
9	教科の内容に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 1	0	6	4	3	1	13	3.571
		% 6.667	0	40	26.67	20	6.667	86.67	
10	教科の内容に関係するテーマで研究すること	人数 1	0	4	5	2	3	11	3.583
		% 6.667	0	26.67	33.33	13.33	20	73.33	
11	教科以外(道徳、特別活動、総合的な学習の時間等)の指導について専門的な知識や技能を学修すること	人数 1	1	2	0	0	11	2	2.25
		% 6.667	6.667	13.33	0	0	73.33	13.33	
12	道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の内容に関係するテーマで研究すること	人数 1	1	0	0	0	13	0	1.5
		% 6.667	6.667	0	0	0	86.67	0	
13	生徒指導や教育相談に関する専門的な知識や技能を学修すること	人数 1	4	0	0	0	10	0	1.8
		% 6.667	26.67	0	0	0	66.67	0	
14	生徒指導や教育相談に関するテーマで研究すること	人数 1	2	1	0	0	11	1	2
		% 6.667	13.33	6.667	0	0	73.33	6.667	

F 授業評価

- 1 : 良くない
 2 : やや良くない
 3 : やや良い
 4 : 良い

		1	2	3	4	無回答	3以上	平均
1	出席状況等も含めた、大学院での授業に対するあなたの取り組み態度	人数 1	1	5	7	1	12	3.286
		% 6.667	6.667	33.33	46.67	6.667	80	

- 1 : どの授業も改善を要する
 2 : 改善を要する授業が多い
 3 : 満足できる授業が多い
 4 : どの授業も満足できる

		1	2	3	4	無回答	3以上	平均
2	授業内容の適切さ (大学院の授業にふさわしいか)	人数 0	1	10	4	0	14	3.2
		% 0	6.667	66.67	26.67	0	93.33	
3	授業の内容や課題の量	人数 0	1	10	4	0	14	52
		% 0	6.667	66.67	26.67	0	93.33	
4	授業の内容や課題の難しさ	人数 0	0	11	4	0	15	56
		% 0	0	73.33	26.67	0	100	
5	授業の進め方のスピード	人数 0	0	10	5	0	15	57.78
		% 0	0	66.67	33.33	0	100	
6	成績評価基準の明確さ	人数 0	3	6	6	0	12	40
		% 0	20	40	40	0	80	
7	説明等の分かり易さ	人数 0	1	9	5	0	14	38.67
		% 0	6.667	60	33.33	0	93.33	
8	質問の機会	人数 0	1	7	7	0	14	44
		% 0	6.667	46.67	46.67	0	93.33	
9	院生と接する態度	人数 0	0	6	9	0	15	46.67
		% 0	0	40	60	0	100	
10	授業の雰囲気	人数 0	1	6	8	0	14	48
		% 0	6.667	40	53.33	0	93.33	
11	教科書、視聴覚教材、その他の授業の工夫	人数 0	0	13	2	0	15	41.78
		% 0	0	86.67	13.33	0	100	

- 1 : 劣る
 2 : やや劣る
 3 : やや優れている
 4 : 優れている

		1	2	3	4	無回答	3以上	平均
12	授業についての総合的な評価	人数 0	0	10	5	0	15	3.333
		% 0	0	66.67	33.33	0	100	

G 教育学部の総合評価

- 1 :改善を要する
 2 :「1」と「3」の間
 3 :おおむね満足できる水準にある
 4 :「3」と「5」の間
 5 :十分に満足できる水準にある

		1	2	3	4	5	無回答	3以上	平均
1 教員・スタッフ	人数	0	0	2	7	6	0	15	4.267
	%	0	0	13.33	46.67	40	0	100	
2 教育のための施設・設備	人数	1	3	5	4	2	0	11	3.2
	%	6.667	20	33.33	26.67	13.33	0	73.33	
3 授業編成や教育課程	人数	0	1	6	6	2	0	14	3.6
	%	0	6.667	40	40	13.33	0	93.33	
4 研究指導	人数	0	0	1	6	8	0	15	4.467
	%	0	0	6.667	40	53.33	0	100	
5 総合評価	人数	0	0	2	11	2	0	15	4
	%	0	0	13.33	73.33	13.33	0	100	

【大学院に入って良かったこと、大学院で身に付いたこと】

より、現場に近い指導方法など考える事ができた。

大学院に入って基礎的な教科の知識・技能を再確認できたこと。また、深い知識や技能を学べたことが良かったです。そして何よりも、自らの教育の指針を立てることができました。なかなか4年間でそれを考えるのは厳しいと思います。2年間大学院にいくことができ、本当に良かったです。

主体的に研究を行う態度を身に付けることができた。教員にとって必要な資質である。

大学院に入って良かったと思っていることは、自分自身を成長させることができたという点です。学部生の頃は、大勢の学生の中の1人として、先生方と関わってきたのですが、院生になってからは、研究者の卵として先生方と意見交流をしたり、また、今までは見えてこなかった部分まで教えてもらえたりと自己認識が変化したように思えます。それまでは、いろいろなことに消極的だったのですが、何事に対しても挑戦してみようという意識が持てるようになりました。

小学校における古典学習の系統性について研究する授業を受講し、附属小で研究授業をさせていただきながら、興味のなかった国語教育の分野に、興味をもつことができた。教育評価の授業で得た知識が、現在、職務を遂行する際、役立ったり、参考になったりしたこと。

学部生時代よりも人数が少なくなるので、授業内容が自分が学びたいことにより近づいていた。授業時数的にも余裕があり、1つの学習にかけられる時間が多かった。周囲が就職し、いろいろと大変なことや仕事のことなどの話が聞けて、教授に向けての学習計画も確立できたり、自分が教員になるときの心構えができたので、心に余裕をもって社会人を迎えられた。論文の書き方や完全度は卒業論文とは比較になりません。大変でしたが、ていねいに見ていただきました。

専門的な学びや研究ができたから。現在の授業づくり等で活かされているから。

大学院で多くの経験ができたことが今に生きています。多くの人と関わりながら学べたことが良かったです。

専門的な教科研究が学校現場で経験や自信のうらづけとして残っているのでとても助かってます。

大学院を出て良かったと思います。貴重な時間でした。パソコンの技能、専門性、自分から学ぶ姿勢、「1人でも何でもできる」という自信がつけました。「調べる」→「まとめる」→「考える」ができるようになりました。

教科の教育法や授業実践に関するテーマにおいて研究していく中で、授業のねらいに即して、自ら題材を選び、調査し、そこから指導課程を構築することの大切さ、そのための調査の重要性を改めて実感した。たいへん貴重な経験をさせていただきまして、有り難うございました。

現場を離れ客観的に現場を見ることができた。これまでの実践を振り返ることができた。教科の内容をあらためて理論的に考えることができた。

《良かった点》教科の専門的な内容に触れることができ、現場に出てから教材研究をする際などに役立っている点。現職の先生方と授業を通してディスカッションでき、先生方の考えに触れることができた点。少人数で学ぶ機会が多く、学部時代よりも詳しく指導していただいた点。《身に付いたこと》研究を進める中で得られた知識と経験。何事にも調べて臨む姿勢。

【自由意見】

学生と教育現場、大学とがより近くなり、様々な情報が得られるようになるとありがたいです。図工、美術は特に、どのように指導してよいか分からないという意見がとて多く、また教科書の内容と現場の状況がかけはなれているように感じます。(特に小学校) 予算、生徒指導、時数など。教員の中の意識改革も必要ですが、より現場の実態に合った指導等、現場にもおろしていただけるとありがたいです。

専門教科・科目に多雨する増詣が深く、現場の知識を兼ね備えている大学の先生方が、その能力を遺憾なく発揮できる環境づくりを今後も続けていって下さい。

群大内での院生のつながりが持てる環境があるといいなと思いました。(教科だけでなく、教職大学院も含めて)。また、もっと教育の根本について深く学んだり、現場と交流できたりする授業があると良かったと思います。

私がいた頃は、教授達が仲が良く、連携しながら指導してくださったので、教科教育のあり方を広い視野をもちながら学ぶことができました。今後も、各専門の先生方がタッグを組みながら授業してくださると、学生にとっていい経験が積める場になると思います。大変お世話になりました。

教育とは少しちがうと思いますが…。群大生から院への進学の際、入学金を少し免除していただけるとありがたいです。

授業実践がもっと系統だってできたらよかったです。

特に思いつきませんでした。

カリキュラムに余裕があれば、子どもを動かす技術や、教員を動かす技術など、現場ですぐに(日々)役立つことを取り入れると良いと思います。

大学院での授業の選択科目がもっと増えると良いなと思いました。他専修の科目で履習してみたいと思う科目がたくさんありました。

もっと現場との交流を積極的に行うことがよいと考える。

大学院での学びをどのように現場に生かしていくのか、それを考えたり現職の先生方を交えて話し合ったりするような時間があると良かったと感じています。もちろん、全てを生かすことは難しく、無理に生かしても現場ではチグハグになってしまう点もあると思いますが、得た知識や経験を何かの形で活用する方法を探る時間がほしいと思いました。